

## 1. 目的

沖縄市東部地区の豊かな自然環境および社会環境を保全し、次世代へ継承していくためには、それら自然や文化、歴史とふれあい、さまざまな実体験を通じて、環境への関心を深めることが必要である。

しかし、現代社会においてはその機会が少なく、それらを実際に体験し、学ぶ環境学習の普及が求められている。特に、中城湾港泡瀬地区開発事業により出来上がる人工島では、環境と共生するまちづくりを目指すため、泡瀬地域住民、ひいては沖縄市民の環境への意識を高めることが必要だと考える。

本書は泡瀬地区においてまだ活用されていない資源を発掘し、環境（利用）学習の普及・実施に必要なプログラムの整理、および学校教育の現場での使用に耐えうる教材として平成20年から平成21年にかけての調査内容を編集したものである。

本書の構成は、大きく自然編と社会編に分け、自然編では泡瀬干潟で干潟観察会を実施するのに必要な生き物や生息環境、生態的特徴などについての基礎資料、社会編では近代の泡瀬地区周辺での産業、民俗、暮らしを中心にした資料を掲載した。また、泡瀬地区で実施したスタンプラリーについての資料も掲載した。

実際に、学校現場での利用のしやすさを考え、本書は生徒用資料としての座学用教材と教師（講師）用資料としての講師用教材とに分けて構成した。